

第2～4時

①準備運動を行う。

1. 準備運動時に音楽をかけ、リズムに合わせた体操を取り入れてもよい。
体を動かすこと、リズムに合わせて動くことが楽しいと感じられるように、身体と心の準備の時間を設ける。

②めあてを確認する。

いろいろな いきものに へんしんしよう

本時のめあてを意識し、見通しをもって学習に取り組むことができるようにする。

③「やってみよう」を行う。

3-1. 【まねっこ】

・縮む、跳ぶ（高低・左右）、回る、膝の伸び曲げ、前後に動く、足を開く、腕をピンと伸ばす、倒れる、歩く、走る、這う、ねじる等の動きを行う。

※題材の特徴を取り入れて踊ることを身につける。



3-2. 【かがみっこ】

・向かい合わせで踊る。
・右手を挙げる—左手を挙げる。
・右足を右側に伸ばす—左足を左側に伸ばす 等。
※難しい動きは取り入れず、少し考えると「できた」と感じられる動きを行う。



3-2. 【ハイ！ポーズ】

・ピタッと止まる。
・3, 2, 1, ストップ 等の動きを行うことで、静と動を意識して踊ることを身につける。
※ロックやサンバの音楽を取り入れ、リズムに合わせて動いてもよい。



④活動1を行う。

4. いろいろな いきものに なりきって おどろう



・児童書（P13）を参考に、いろいろな生き物になりきって踊る。
・教師の動きをまねすることで、題材の特徴を捉えることができるようにする。
・特徴を捉えて、跳ぶ、回る、ねじる、這う、素早く走る等の全身の動きで踊ってみることで、自分の踊りに取り入れることができるようにする。
・動きをタブレット端末で撮影して、自分や友達の動きを確認する。

意欲的でない児童への配慮

単元の導入で、その題材に関連する絵本や図鑑、映像資料を提示し、題材についての興味関心を高め、動きを想像しやすいようにしておく。

⑤気づいたことや、できるようになったことを伝え合う。

⑥共有したポイントを意識して、もう一度活動1を行う。

⑦本時のまとめをする。

第5～8時

①準備運動を行う。

②めあてを確認する。

③「やってみよう」を行う。

④活動2を行う。

5. 児童の動きを見ながら、全体でポイントを共有することができるようにする。一番気に入った様子や動きを、友達に伝えることができるようにする。

6. 友達に見つけてもらった動きの良さを意識したり、見つけた友達の動きを取り入れたりすることができるようにする。ポイントを意識しながら、活動できるように助言する。

7. 学習活動のまとめをし、次時の意欲喚起につなげる。

お話を考えて 全しんでおどろう

2.

本時のめあてを意識し、見通しをもって学習に取り組むことができるようにする。

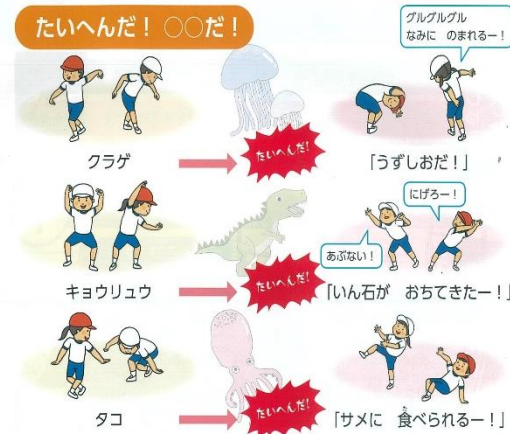
3. 一つ一つの動きを確認しながら行うことができるようにする。

4-1. ○○が●●しているところ

- ・児童書（P14）を参考に、簡単な場面を即興的に踊る。
- ・動きを見合い、動きの良さを伝える。
「ワシが獲物を見つけた動きがかっこよかったよ」
「ゴリラが力自慢をしているところが、本物のゴリラみたいだったよ。」



4-2. たいへんだ！○○だ！



- ・児童書（P15）を参考に、急変する場面を即興的に踊る。
- ・動きを見合い、動きの良さを伝える。
「すみを吐いたから、サメから逃げきれたね。」
- ・友達の動きを取り入れ、もう一度行う。

※指導書（P42）の言葉がけの例を参考に声かけをする。

<p>⑤本時のまとめをする。</p>	<p>苦手な児童への配慮</p> <p>①題材の特徴を捉えて踊ることが苦手な児童</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねじったり回ったり、跳んだり転がったりして全身の動きで特徴を捉えている友達の動きを見合い、真似することができるようにする。 <p>②続けて踊ることが苦手な児童</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「たいへんだ！〇〇だ！」の複数の例示から選べるようにする。 <p>③イメージがわからず、うまく体を動かすことができない児童。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いきいきと踊れるように、見たことのある動物を選ぶようにする。 ・跳ぶ、回る等、多様な動きが引き出せる動物を選ぶようにする。 <p>④恥ずかしくて踊ることに抵抗がある児童</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入では、教師の動きを児童が真似しながら、大きな動きや様々な動きが経験できるようにする。 <p>5. まとめと振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習のあしあと」を参考に単元を振り返り、一人一人の伸びや頑張りを称賛する。 <p>※単元のまとめ（発表会）をする。</p>
<p>【評価の観点】</p>	
<p>知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表現遊びの行い方を知っている。 ・身近な題材の特徴を捉え、そのものになり切って全身で即興的に踊ることができる。
<p>思考力、判断力、表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な題材の特徴を捉えて踊ったり、軽快なリズムに乗って踊ったりする簡単な踊り方を工夫している。 ・考えたことを友達に伝えている。
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表現遊びに進んで取り組もうとしている。 ・だれとでも仲良く踊ろうとしている。 ・場の安全に気を付けようとしている。
<p>【学習を通しての児童の反応、児童の感想】</p>	
<p>児童の反応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「やってみよう」から始めることで、身体を大きく動かすことに抵抗なく取り組むことができた。 ・音楽に合わせる活動を毎時間取り入れることで、踊ることへの抵抗が減っていった。 ・場を広くつかったり緩急を付けたりすることで、表現の幅が広がった。 ・自分たちで簡単なお話を作り、チームでイメージを共有できた。
<p>児童の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サメから逃げきれてうれしかった。 ・みんなと一緒に動けたことが楽しかった。 ・馬が「パカラッ！パカラッ！」と走る動きが楽しかった。 ・おへその位置を動かすと大きな動きになって、見ているも動いているも楽しかった。 ・チームで作る踊りも、クラスみんなで動く踊りも楽しかった。 ・リズムを変えると速さが変わって面白かった。 ・逃げたり追いかけたりする動きが楽しかった。 ・他のチームの発表を見て、何の動物の動きをしているのか当てるのがとても楽しかった。どのチームも上手で、すぐにわかった。
<p>【「わたしたちの体育」を活用した学習について】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・教師用指導書P42の「言葉がけの例」を参考にすることで、子どもたちの動きが変わっていった。映像資料を先に見せることで、オノマトペとイメージがかみ合い、表現が巧みになった。掲載されている「やってみよう」は3種類だが、子どもたちが楽しく取り組める活動を研究し、さらに取り入れていってほしい。 	

